

小短信

日本の現在 ～ 通过有功力的景点重新发现日本 ～

您是否知道1年12个月的每个月份，日本自古以来分别有各自的别名？10月写成“神无月”，念“kannaduki”或“kaminashiduki”，之所以有这样的称呼名、据传说，在10月岛根县的神社“出云大社”，有一个专门商量有关这世上人们的姻缘的神仙聚会，日本全国神社的神仙都外出到那里去了，因此神社里就家中无人。

那么，这“出云大社”作为结亲的总寺院自古就广为人知，但最近作为流行的“有功力的景点”之一，有更多的人访问这神社。有功力的景点是日本式英语，似乎有“如果访问，就能得到幸运的地方”的意思。

电视节目翻阅古来神秘的传说向人们介绍神社以及寺院、名山等，旅游公司也效仿这流行热潮，北面从北海道，南面到冲绳，提出了如访问各地有功力的景点的旅游计划。有统计说：由于这原因国内旅游的需求比以前高涨了。

对于容易只想到外国去旅游的日本的年轻人来说，有功力的景点的流行热潮似乎成为了重新发现日本的契机。

传达心意的日语 ～ 表扬的日语 ～

只有人类有赞扬他人的文明。表扬的词语，也表示认可相关联，可谓人际关系的原点。

日语里有“好”这一词语，确实除了表扬之外有认可的语感，因为很简单、可用于各种各样的场面，所以，诸位不妨尽多地试着使用。例如：“你的姿势很好”，“意见不错”等。

在表扬词语里，除此之外，还有“真棒”，“真不愧是”，“真精彩”等许多词语。

在抚养孩子或教育公司职员时，常说要边表扬边教育为好，但是，日本人好像不善于表扬。

人在被表扬的时候，一下子会笑逐颜开。被表扬了就有了自信，上进心也就会随之涌出。当被对方反过来表扬“你也真帅”的时候，表扬的一方心情也非常好。互相赞扬也许是人类为了发展下去的智慧。

ミニ情報

日本のいま ～ パワースポットで日本再発見 ～

1年12ヶ月の各月には、それぞれ日本古来の別名があることを知っていますか？ 10月は「神無月」と書いて「かなづき」又は「かみなしづき」と言いますが、このような呼び名が付いたのは、伝説によると10月に島根県にある神社「出雲大社」でこの世の人々の縁について相談する神の集いがある、日本全国の神社の神が、そこに出掛けて留守になるためだとか。

さてこの「出雲大社」は縁結びの総本山として昔からよく知られていましたが、最近では流行の「パワースポット」のひとつとして、更に多くの人々がこの神社を訪れています。パワースポットとは和製英語で、「訪れると幸運が得られる場所」というような意味でしょうか。

テレビ番組では古来の神秘的な伝説をひもといて神社や寺、山等を紹介し、旅行会社もこのブームにあやかり北は北海道から南は沖縄まで、各地のパワースポットを訪れる旅行プランを提案しています。そのせいか国内旅行の需要が以前より高まっているという統計も。

外国にばかり目を向けがちな日本の若者にとっては、パワースポットブームは日本を再発見するきっかけになっているようです。

心を伝える日本語 ～ ほめる日本語 ～

他者をほめる文明を持っているのは人類だけです。ほめる言葉は、認めると言うことにも繋がり、人間関係の原点と言えると思います。

日本語に『いい』という言葉がありますが、まさに、ほめる他に認めるというニュアンスがあり、いろいろな場面に使えシンプルなので、どしどし使ってみてはいかがでしょう。『あなたは姿勢がいい』、『いい意見ですね』など。

ほめ言葉には、他にも『素晴らしいですね』、『さすがですね』、『みごとですね』などたくさんあります。

子育てや社員教育では、ほめて育てるといいと言われていますが、日本人は、ほめることが苦手なようです。

人は、ほめられた時には、パッと笑顔を見せます。ほめられると自信がついて向上心も湧いてきます。『あなたもステキよ』と逆にほめ返されたら、ほめた方も幸せいっぱい気分になります。ほめ合うということは、人類が発展していくための知恵なのかもしれません。